

## 【5月30日：エクストリーマーインタビュー⑧】サマリー



～SDGs活動に取り組むZ世代の価値観を探る～

前回インタビューしたZ世代の男性は、「社会貢献したいという気持ちはない」と言っていました。一般的にはZ世代は社会貢献活動にやりがいを感じると言われているのに・・・。  
彼の言い分は「いままで生きてきて、社会にお世話になった感覚はないから」とのこと。  
これはこれで、なるほどと思いました。  
一方で今回のG7に多くの若者がSDGsをテーマに活動していたとも聞きます。  
今回は、そういった社会活動に参加しているZ世代の話聞きます。  
どんな価値観を醸成され、今どんな意識で活動しているのか、Z世代の価値観を探ります。  
変化していくこの世代について一緒に考えましょう。

【兆しを考えるポイント（終了後ディスカッション）】

1. SDGsなど社会活動に取り組もうとする価値観の育まれ方
2. 自身を同世代あるいは社会の中でどう位置付けているのか
3. 興味関心の変化はこの先どんな行動に結び付くと考えられるか
4. Z世代の多様性と共通する価値観を捉える

### 【対象者情報】

■ 男性（23歳） ■ 両親・弟と同居 ■ 大学生 ■ G7：Civil7に運営参加

# 行動力じゃなくて実行力が大事

- 中学時代から世界をよくするには政策や国家間レベルの活動に参加することが必要と思い、国際公務員になりたいと考えていた。
- G7においてCIVIL7の運営活動に携わったり、ソーシャルイノベーションスクールに通うなど、やり遂げるということを大事にしている。
- 旧来の市民運動や社会運動のように声を上げることよりも、ちゃんと話し合いができるような準備をするなど、納得感を持てる行動をとる。

よい社会に変えたいと思っているけど、自分が将来どうなりたいよりも、目の前に熱意持ってやれることに取り組みたい

- 熱意はあるが、冷静に確実に実行できる方法を探りながらの行動
- 環境に適応しながら生きることが大事だから、安定を求めるというよりも変化に対応できるようにする
- 社会問題を解説してくれるような動画をよく見る

# Z世代だからではなく、今の社会環境がそうさせている

- Z世代の特徴のように言われることは特別なことではない。
- お金を遣わないんじゃなくて、そもそもお金がない。
- 子どもが生まれれば、育児に参加したいのは当然だけど、今の社会で結婚したり、子供を産むという選択そのものをしたくないと考える。お金がかかりすぎるから。
- 社会貢献はそれが可視化されたというだけで、以前からそういう人がいたし、「Z世代は・・・」ではない。

1. 人との関係やコミュニティを重視する
2. お金を使わない
3. ブランドよりも個性や自分らしさを大事にする
4. 娯楽や体験にはお金を使う
5. 仕事とプライベートを両立するために安定的な仕事を持つことが重要
6. 育児休業をとって積極的に育児に関わりたい
7. 社会貢献にやりがいを感じる

\* Z世代の特徴（ネットから抜粋）